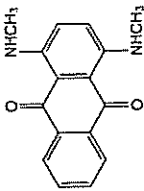


別紙2 変異原性が認められた既存化学物質に関する情報一覧

化学法・安衛法 情報公表管理番号	CAS No.	名称	構造式等	常温の性状等 (固体・液体・気体)	用途	変異原性試験結果の概要 ※1	出典
5-5119	2175-01-7	ソルベント フル---78	 <chem>CN1C=CC2=C1C(=O)C=C(C)C2=O</chem>	固体 融点：-- 沸点：-- 蒸気圧：--	-	Ames試験最大比活性値： 3.9×10^4 Rev./mg	・厚生労働省

※1 各変異原性試験の判断基準

- 微生物を用いる変異原性試験 (Ames試験) において強い変異原性が認められるとするとする比活性値は、概ね1,000 (revertants/mg) 以上
- ほ乳頸培養細胞を用いる染色体異常試験において強い染色体異常誘発性を示すと評価する濃度は、D₅₀値が概ね0.01 (mg/ml) 以下
- マウスリンファンマーマウス試験では、いずれかの試験系で突然変異頻度が陰性対照の4倍、又は陰性対照より 400×10^{-6} を超えて増加している場合、強い陽性と判断
- in vivo 小核試験で陽性が出た場合には、強い陽性と判断